



令和元年 7月9日(火) 第13号



自分を高める夏休み



いよいよ明日10日(水)から学期末懇談が始まり、授業も午前中だけ[45分×4限・給食なし]の短縮授業になります。1学期も残りわずか、すなわち夏休みも目前です。先週の「学年だより」で、**「夏休みをプロデュースする」**と題して、オープン講座のことを話しました。オープン講座の申し込みは18日(木)が締め切りです。中には案内プリントが配布された直後から1人でいくつもの講座を申し込んでいる人もいますが、今のところはどの講座もまだまだ申込者が少ないようです。ただ、毎年、締め切り直前に駆け込んでくるような人がたくさんいます。きっかけは何であれ、「勉強しよう」という気持ちや、自分で申込用紙を提出する行動は、無条件で良いこととは思いますが、正直いうと、「締め切り直前に慌てて申し込むぐらいなら、もっと早く申し込めばいいのに」と思っています。しかし、今はその言葉は飲み込んで、《^{しんしん}キミたちの“ヤル気”が出る》のを静かに待ちたいと思います。さあ、誰かにいわれて^{しんしん}渋々申し込むのか、自分から一歩踏み出すのか…。



上にも書いたように、今週は午前中4限の短縮授業になります。有意義な夏休みをプロデュースするためには、今週の(特に午後の)過ごし方が大切です。【勝負のポイント】のひとつめは、今週の間(夏休みに入る前に)どれだけ夏休みの宿題に取り組むかということです。今週ぐらいから、教科ごとに夏休みの宿題が配布されます。その宿題に、今のうちから取りかかるのです。そして、早めに宿題を終わらせて、**宿題以外のことに取り組む時間を確保**することが不可欠です。



「有意義な夏休み」とは、“いろんなこと”に取り組んで**自分を高めることができる夏休み**のことです。「遊んでばかり」の夏休みがダメだというのは言うまでもありませんが、その他でも、たとえば、「宿題ばかり」でもダメだし、「部活ばかり」でもダメなのです。つまり“1つのこと”にしか取り組んでいないのは、自分を高めることはできないのです。^{たの}楽しいことや^{おもしろ}楽なこと、好きなことだけでなく、しんどいことや苦しいことにも立ち向かってこそ、豊かな感性を育むことができます。そのためには、宿題だけで夏休みを終えるわけにはいきません。その点、夏休みのオープン講座は、宿題ではないし、受けないよりは受ける方が間違いなくしんどいでしょ。でも、「有意義な夏休み」という意味では、**確かな第一歩**だといえます。申し込んだ人は、まさに“一歩リード”です。





未来に生きる『成績』の見方



明日から始まる学期末懇談では、1学期の成績をもとに1学期の成果と課題を明らかにします。つまり、すでに1学期の成績がついているということです。通知票の成績を見ることにはなりますが、5段階の成績だけを見て一喜一憂するような見方は、今後に生きる「成績の見方」とはいえませんが、次は、未来に生きる【成績の見方】について話そうと思います。

4月以降、授業を前向きに頑張っている人が多いということは、これまでに何度か話しました。しかし、残念なことに「数学は好きだから頑張るけど、国語は嫌いだから頑張らない」というように、自分の好き嫌いで授業態度を変える人もいます。そういう人は、その態度がどのように成績にあらわれているかを見てください。「なぜそうなってしまったのか」は明らかでしょう。時々、「5教科は頑張るけど、4教科は頑張らない」とか、「自分は実技教科は苦手だから無理だ」いうように“偏った努力”をする人がいますが、それも結局は自分の好みによって授業態度を変えているのと同じです。2年生の今から入試のことを気にし過ぎるのも良いとは思いますが、中途半端で軽はずみな判断では、自分の可能性を狭めることにもなります。その授業態度は、自分で自分の可能性をつぶしているようなものです。通知票は、学習の成果をあらわす大切な資料です。正しい見方をして、今後の学校生活に生かしましょう。

☆職業講話を通して☆



7月5日(金)の午後、職業講話の取り組みをおこないました。5限目には、いろいろな職業の方々に講師にお招きし、いろいろなお話をお聞きしました。6限目には、そこでお聞きしたお話の内容を報告し合う会をもちました。発表の準備時間もほとんどなかった中、緊張して詰まりながらも一生懸命に発表する姿を見ると、先生たちは胸が熱くなるのを感じました。発表者はきっと「**準備時間さえあればもっと上手に発表できるのに…**」と悔しく思ったでしょうが、それはまた次の機会に発揮してください。そのためのチャンスは何度でも設定しますから。

今回の職業講話で、少なくとも「働く＝給料をもらう」だけではないことは理解できたでしょうか？確かに、働くと、それに見合った給料を手にすることができます。しかし、お金を得ることしか考えていないようでは、本当につらいことに直面したとき、乗り切ることができません。ゲストティーチャーのみなさんは、異口同音に仕事の“やりがい”について話をされたと思います。きっとどの職業でも同じことがいえるでしょう。どの職業の仕事にも「つらいこと」や「苦しいこと」があります。しかし、同時に、それを補って余りあるほどの“やりがい”もあるのです。今回の職業講話をはじめ、職場体験学習の取り組みを通して、感じ取ってほしいことのひとつです。

保護者のみなさまへ



明日から学期末懇談が始まります。約20分間の短時間ではありますが、1学期の成績をもとに、授業態度など、学校生活の様子をお話させていただきます。また、その他、教科担当者からのコメントもお伝えします。一方、保護者のみなさまには、ご家庭での様子をお聞かせいただきたいと思います。暑い中ではありますが、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。